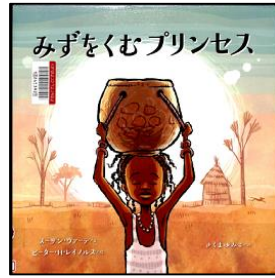
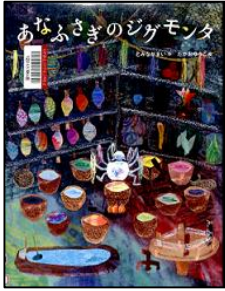


第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでもらうため、6月1日～8月31日の間、課題図書の貸出期間が1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校低学年（1・2年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



Eア 『あなふさぎのジグモンタ』
とみながまい／作
たかおゆうこ／絵
ひさかたチャイルド

ジグモのジグモンタは、「あなふさぎや」をしています。ようぶくにあいてしまったあなをふさぐしごとです。でも、みんなはすぐあたらしいものをほしがり…。

K913ス 『そのときがくるくる』
すずきみえ／作 文研出版
くすはら順子／絵

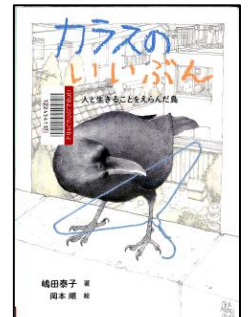
だれにでもきらいなものってあるよね。きみはどう？ぼくにはあるよ。どうしてもたべられないもの。おじいちゃん「いまはきらいでも、いつかきっとおいしくたべられるときがくるさ」っていうけど…。

Eミ 『みずをくむプリンセス』
スーザン・ヴァーデ／文
ピーター・H.レイノルズ／絵
さくまゆみこ／訳
さ・え・ら書房

あさはやくから、とおくまで、みずをくみにいくプリンセス・ジージーのねがい。それは、だれもが、いつでも、きれいであぜんなみずをつかえるようになること。アフリカの、あるみずくみしょうじょのいちにちをえがいたえほん。

Eト 『どこからきたの？ おべんとう』
鈴木まもる／作・絵 金の星社
たべものは、どこでできて、どうやってはこばれてくるのでしょうか？おひるのじかん、おとこのこがおべんとうぶくろをひらくと、おべんとうのほかに、おかずがどこからやってくるのかがかかれたメモがはいていて…。みかえにしにもぶんしょう&えあり。

《 小学校中学年（3・4年生）の部 》



K486 『わたしたちのカメムシずかん』
鈴木海花／文 福音館書店
はたこうしろう／絵

校長先生の一言から、臭くてやっかいものカメムシを調べ始めた子供たちは…。カメムシを最新の研究をもとにわかりやすく紹介。「わたしのずかん」シート付き。『月刊たくさんのふしぎ』から生まれた、実話をもとにした絵本。

K913ト 『ゆりの木荘の子どもたち』
富安陽子／作 佐竹美保／絵
講談社

遠い夏の日の呼び声にこたえ、おばあさんたちは時を越えて、子どもにもどった。いまは老人ホームとして使われている「ゆりの木荘」。住人のひとりがかつて手まり歌を歌いはじめると、玄関ホールの古時計の針が逆回転し…。

K943エ 『ぼくのあいぼうはカモノハシ』
ミヒャエル・エングラ／作
はたさわゆうこ／訳
杉原知子／絵 徳間書店

オーストラリアにはどうやって行くの？バスに乗る？ポート？それとも…。ドイツの男の子ルフスと、人間のことばをしゃべるカモノハシのとほけたやりとりが楽しい、ゆかいな冒険物語。

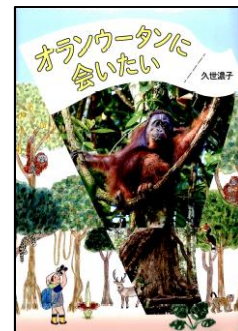
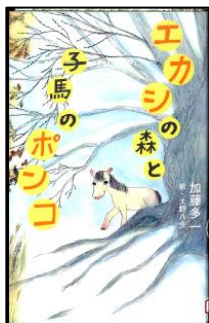
K488 『カラスのいいぶん』
嶋田泰子／著 岡本順／絵
童心社

カラスは、ごみを散らかす嫌われもの！？でも、カラスにも、いいたいことがあるみたいで…。ハシブトガラスを主人公に、ひとの近くで生きることを選んだカラスの生活を追います。

第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

江南市立図書館では、少しでも多くの人に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 小学校高学年（5・6年生）の部 》 ※貸出中のときは、予約をしてお待ちください。



K913カ『エカシの森と子馬のポンコ』
加藤多一／作 大野八生／絵
ポプラ社

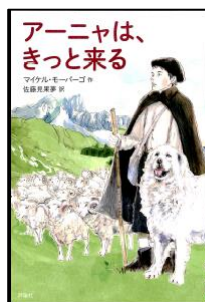
子っこ馬のポンコは、すきなところへ、すきなように歩いていく。でもある日、川の水の声も、風の声もいつもとちがって…。

K913ナ『サンドイッチクラブ』
長江優子／作 岩波書店
夏休み、小学6年生の珠子は、無心に砂像を作るヒカルと出会う。強烈な個性をもち、成績もトップクラスのヒカルは「戦争をなくすためにアメリカの大統領になる」と言い…。新たな世界に向きあっていく少女たちの成長物語。

K949ウ『おいで、アラスカ!』
アンナ・ウォルツ／作
野坂悦子／訳 フレーベル館
子犬のときに飼っていたアラスカが、転校してきたスフェンの介助犬になっていた。それを知ったパーケルは真夜中、スフェンの部屋を訪ね、アラスカを連れ去ろうと計画し…。

K489『オランウータンに会いたい』
久世濃子／著 あかね書房
ボルネオ島の深い森でオランウータンの研究をしている著者が、自身の研究生活とともに、オランウータンのユニークな体や生活などを紹介。さらに、絶滅の危機に瀕するオランウータンのためにできることを考える。

《 中学校の部 》



K913ハ『ウィズ・ユー』
濱野京子／作 くもん出版

高校受験を控えながら、家族関係に悩み悶々と日々を送る悠人は、夜の公園でひとつ年下の少女、朱音と出会う。彼女は病気の母を支えながら家事を担う「ヤングケアラー」だった。悠人は彼女の力になりたいと思うようになるが…。

K933モ『アーニャは、きっと来る』
マイケル・モーパーゴ／作
佐藤見果夢／訳 評論社

第二次世界大戦下のフランス山間部の村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもたちと出会い、彼らの亡命に協力することになる。さて、村人全員を巻き込んだ大騒動の逃亡劇の行方は…。

K289マ『牧野富太郎』
清水洋美／文 里見和彦／絵
汐文社

日本全国の野山を歩いて集めた標本は40万点。調べて分類し、名前をつけた植物が1500種類。「日本の植物学の父」とよばれる牧野富太郎の94年にわたる人生を描く。富太郎ゆかりの場所なども収録。

第67回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

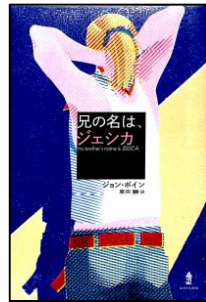
江南市立図書館では、少しでも多くの方に読んでいただくために、6月1日から8月31日まで課題図書の貸出は1週間のみとなります。延長はできません。ご協力をお願いいたします。

《 高等学校の部 》



913 テ『水を縫う』
寺地はるな／著 集英社

男なのに刺繍が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6人の家族の物語。



K933 ホ『兄の名は、ジェシカ』
ジョン・ボイン／著
原田勝／訳 あすなろ書房

4歳年上のジェイソンは、サム
の自慢の兄。ただこのごろ、
少し様子が変わったみたいだ
ー。一人の子どもがジェンダー
や性的指向という問題にどう向
き合っていくのかを、わかりや
すく、誠実に、時にコミカルに
描く。



K40 『科学者になりたい君へ』
佐藤勝彦／著 河出書房新社

どうすれば科学者になれるのか？「インフレーション理論」を提唱した宇宙物理学者・佐藤勝彦が、自身の科学者人生を紹介しつつ、「科学とはどういうものか」「優れた科学者になるためには何をしたらよいか」などを語る。

★昨年以前の課題図書も「こども特設コーナー」にございます。
貸出中のときは、予約をしてお待ちください。